

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年11月22日（金）

2 確認箇所

- ・ J 8 タンクエリア（図1）
- ・ J 9 タンクエリア（図1）

3 確認項目

J 8 及び J 9 タンク解体工事の状況

4 確認結果の概要

J 8 及び J 9 タンクエリア（ALPS 処理水を貯留）は、3号機の燃料デブリ取り出し関連施設の建設が予定されている。このため、エリア内に設置された溶接型タンクの解体が令和6年度下期から令和7年度末にかけて計画されている。

東京電力は、溶接型タンクとしては初めての解体作業となることから、手順等を確認しながら他のタンク解体に向け知見を蓄えていきたいとしている。

本日は、解体工事に向けた準備作業の実施状況について確認した。結果は、以下のとおり。（前回確認：[令和6年10月25日](#)）

《J 9 タンクエリア（写真1）》

- ・ タンク内に人が入るためのマンホール前に、装備交換所（仮設ハウス）を設置する作業が行われていた。（写真2）
- ・ タンク内の残水を他のタンクエリアへ移送するためのポンプの設置作業が進められていた。（写真3）
- ・ 確認した範囲において、ALPS 処理水の漏えい等の異常はなかった。

《J 8 タンクエリア（写真4）》

- ・ 準備作業は行われておらず、確認した範囲においてALPS 処理水の漏えい等の異常はなかった。

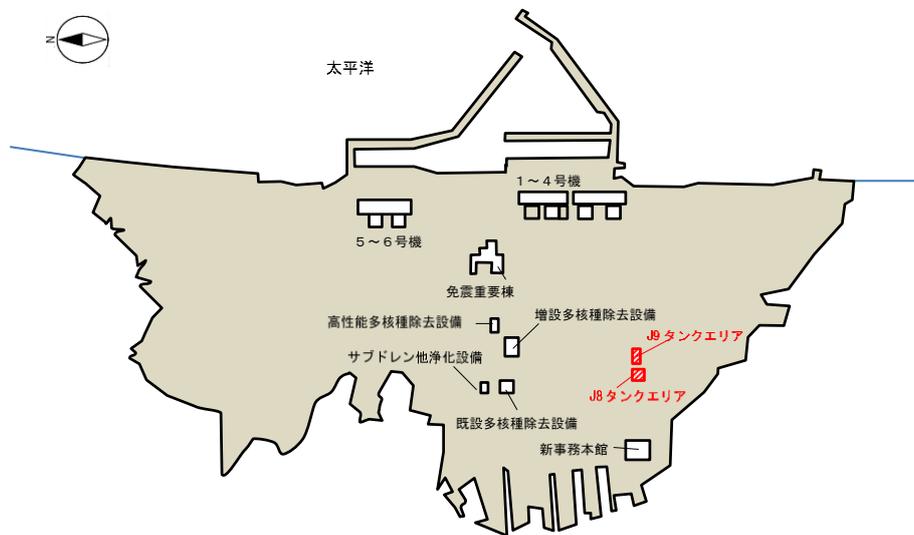
【解体対象のタンク】

《J 9 タンクエリア》

- ・ 貯留総量：8,400 m³（タンク容量：700 m³/基）
- ・ タンク基数：12基

《J 8 タンクエリア》

- ・ 貯留総量：6,300 m³（タンク容量：700 m³/基）
- ・ タンク基数：9基



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
J9タンクエリア外観



(写真2)
装備交換所(仮設ハウス)設置作業
の状況



(写真3)
ポンプの設置作業の状況



(写真4)
J8タンクエリア外観

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。